



開催報告書

みんなのエネルギー・環境会議（MEEC）～若狭若者編～開催報告書

MEEC 若狭若者編実行委員会

夢のちからプロジェクト・若狭

目 的	昨今のエネルギー問題や、原電立地地域である若狭の現状に真摯に向き合い、原子力エネルギーに対する一極化した論理にとらわれず、様々な立場の意見を尊重して対話し、若狭らしさ、若者らしさを表現できる形で、これからの若狭を、日本の未来を描き、その様子を公開する。
概 要	●日時／平成 24 年 6 月 10 日（日）10:00～17:30 ●場所／福井県立大学小浜キャンパス交流センター ●主催／MEEC 若狭若者編実行委員会 ●共催／みんなのエネルギー・環境会議／夢のちからプロジェクト・若狭 ●総入場者数／約 130 名 ●MEEC 発起人／小林武史（ap bank 代表理事）、澤田哲生（東京工業大学原子炉工学研究所助教）、飯田哲也（環境エネルギー研究所所長）、枝廣淳子（幸せ経済社会研究所所長）、吉岡達也（ピースボート共同代表） ●地元登壇者／坂本和弥（ブライダルダカモト専務取締役）、田辺一彦（㈲湖上館代表）、小坂康之（小浜水産高等学校教諭）、山本聡（百笑山本農園代表）、青海忠久（福井県立大学海洋生物資源学部教授） ●プログラム概要／ ・【午前の部】 ＜MEEC しゃべり場＞ 10:00～11:30 「3・11 で変わったこと」をテーマに、世代、出身等でミックスした少人数グループでディスカッションを行った。 ・【午後の部】 ※インターネット動画「Ustream」で生中継 ＜セッション 1＞ 13:00～14:40 （登壇者／小林氏、澤田氏、飯田氏、枝廣氏、吉岡氏） MEEC しゃべり場で抽出された意見をファシリテーター（実行委員）が集約し、登壇して発表後、それに関する内容のやり取りを MEEC 発起人と行った。 ＜セッション 2＞ 15:00～16:30 （登壇者／小林氏、枝廣氏、吉岡氏、地元登壇者 5 名） 地元登壇者と MEEC 発起人によるパネルディスカッション。地元登壇者は商工、観光、一次産業、科学それぞれの分野、視点から、若狭の実情を紹介。ディスカッションでは「これからどうするか」に重きをおいて将来へのロードマップを描いた。 ＜セッション 3（質疑応答）＞ 16:35～17:25 （登壇者／澤田氏、飯田氏） 事前に応募していた一般参加者からの質問に対する質疑応答。「使用済み燃料の行方」や「廃炉技術」など、原子力発電所があってもなくても（原子力発電所が停止したとしても）残される課題に対して、科学的見地から回答。 ＜閉会＞ 17:30

●＜MEEC しゃべり場＞



事前応募の参加者とファシリテーター（実行委員）10名を含む1グループ4～5名で、計10グループに分かれてディスカッションを行った。

グループの分けは、10～20代 or 30代以上（世代）、若狭圏内 or 圏外（出身地・居住地）、社会人 or 学生の計6種類のカラーシールを用意し、名札に貼り付けることで属性を判別し、なるべく同じ色がかぶらないようにメンバーを構成した。

名前	20代→
みーく	若狭内→
	社会人→

その他に留意した点は、参加者には事前説明で「自分の意見だけを押す通さず、相手の意見も聴くこと」を念頭に置いてもらい、雰囲気づくりにも努めた。（ロビーを会場にして開放感を演出。チーム名に若狭のお祭りや見所をつけて、暗に若狭の魅力をPRしながらラフな空気感をつくる等）

しゃべり場の内容は「3.11で変わったこと」をテーマ（切り口）にしたフリースタイル。今回は特に枠を決めつけず、ある程度自主性に任せたことで、グループ内で出てきた話題を元にテーマがさらに派生し、そこから議論を積み上げていくことで話の幅や深みが増して、グループ毎に独自性が生まれる結果となった。



各テーブルに用意した模造紙の使い方も様々。メモや寄せ書き、マインドマップのような使い方もあった。今回のしゃべり場の目的としては「課題解決に向けて建設的に話し合う」よりは「本音を引き出す」ことに重きを置いたため、自主性に任せた場の自由な空気が目的に合ったと思われる。

●＜セッション1＞

MEEC しゃべり場終了後、各グループのファシリテーター（実行委員）が意見を集約し、実行委員会内で意見交換を行い、主にグループ内であった共通認識や共感の大きかった意見、消化しきれなかった課題や疑問点等を抽出。時間の関係上2グループを1人の委員で受け持ち、計5人から登壇発表を行った。その発表を受けてMEEC 発起人から提言や質問を受け、会場や委員から返していく討論会形式。



※セッション1終了後、各グループの模造紙は会場の外に掲示し、来場者にも見られるようにした。

●＜セッション2＞



主に「人、社会、暮らし」にスポットをあてたMEEC 発起人と地元登壇者とのパネルディスカッション。「原発に関わる若狭の経済の実情（坂本氏）」、「観光視点からの新たな取り組み（田辺氏）」、「原発だけではない若狭の海の魅力（小坂氏）」、「原発事故を受けてからの農業への影響（山本氏）」、「温排水や原発停止から見られた環境や生物の変化（青海氏）」など、若狭と原発をめぐる様々な現状を踏まえたうえで「これからをどうするか」「次の一步をどう踏み出すか」の将来に向けた議論を行い、未来への選択肢を提言した。

漁火想班

2012.6.10

2012.6.10
若狹内② 若狹外③





五木ひろしまラソン 7-6

近頃は雇用
遠くは事故

自治体
エネルギー政策への
関心の変化。

一般レベルでの
エネルギーに
関心している

意識
の
電
気
の
即
感

3.11で変わったこと

原発でばかっている人が
(地域の方)

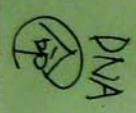
何故か
地域住民は安全意識が高まった

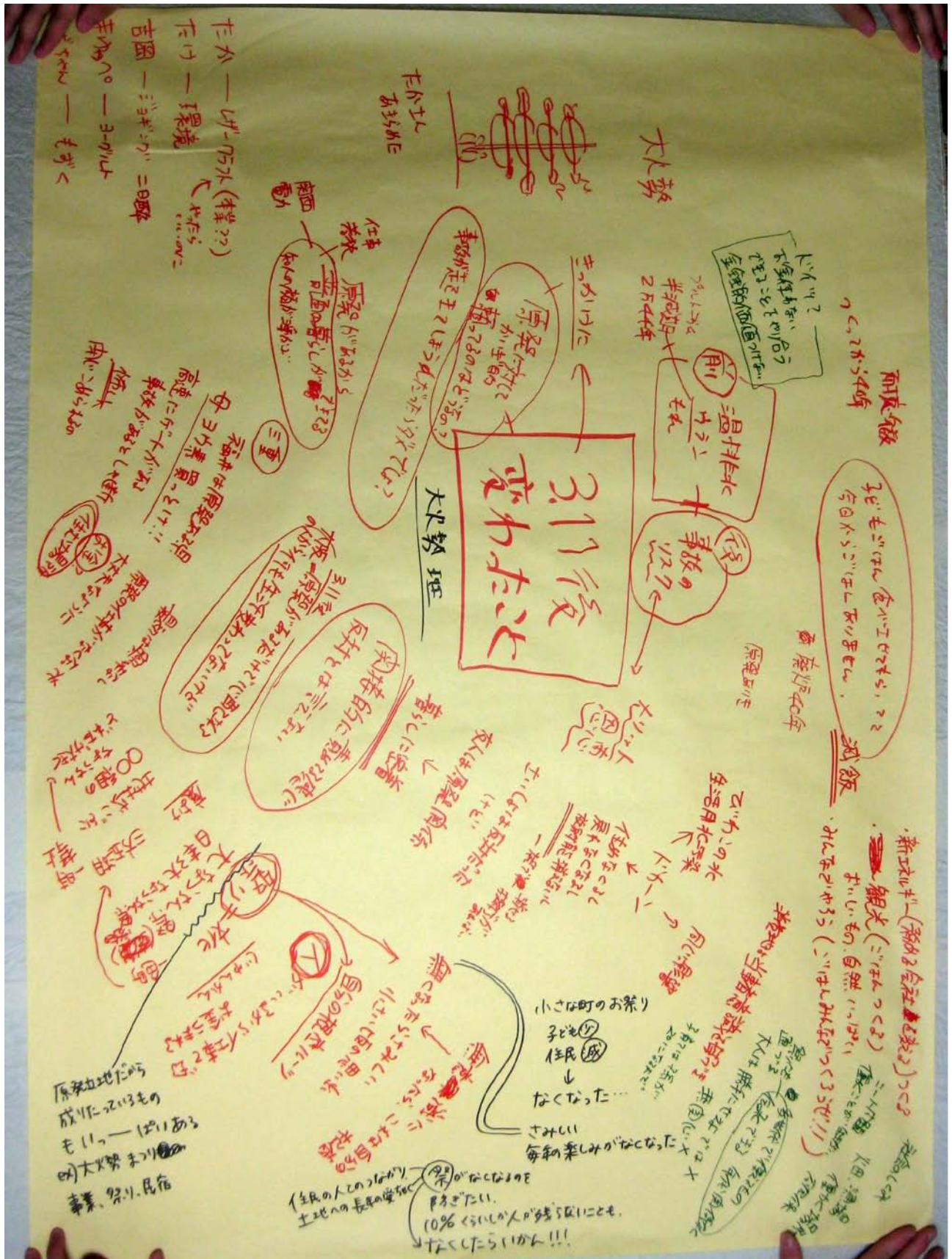
自治体
の
関心

五木ひろしまラソン
の
イメージ

イメージ
の
こと

11月17日は安全意識が高まった
ことだ。資料は
<安全意識の高まり>

DNA




終了後、アンケートに寄せられた参加者の声(抜粋)

- 立地県の住民の置かれている状況、考え方に直接触れることが出来たことはとてもよかった。(20代男性)

- 若狭の現状が分かった。実際に話してみないと知れないことがある。会議自体の開催（本音トーク）も思ったより現地では難しいのかと感じた。今後は、電力のことも、関西全体の事として、とらえられると思う。こうした機会を増やしていきたい。(40代男性)

- セッション2が特に面白かったです。若狭にも面白い人がいるなあと感心しました。そういう人はもうすでに前を向いて次のことを考えているんですね。今こんなに自分たちの町と向き合っている人たちもいないんじゃないかと思います。若狭の人たちが、こんなにも前向きだってこと全国にアピールすべきですね！（20代女性）

- 原発についてあまり語り合える場所がなかったけど、色々な世代、人と意見交換ができてとても貴重な機会でした。触れられる事の少なかった話題に真っすぐ向き合い、未来を考えることの第一歩になったのかなと感じました。(20代女性)

- 地元の経済実態など、午後には生々しい意見を地元住民から聞いたのが貴重でした。午前には、初顔の方々と遠慮のない話を聞く、また自らの意見を伝える、さらに意見がもらえて良かったです。(30代男性)

- 自分が思っていた以上に若狭の雇用は原発に依存していた。関西地域や反原発団体が新たに地域にお金を落とす方法や雇用を生み出していく事を考えなければならないと思った。(30代男性)

- 現在発電所で勤務されている方に登壇していただけたら、もっと生の声を聞いたのでは・・・と思います。(40代男性)

- もう少し、本当の一市民がどう思っているのか、考えているか知りたかった。参加者の方は、十分関心をもっているから参加しているわけで、参加していない方の考えも大切だと思います。若者と限定されると参加しにくかったです。境界線をなくし、つながりましょう。タブーの話という言葉は耳にしますが、私はタブーと思ったことはありません。ただ、話をする場がなかっただけのような気がします。(30代女性)

- 今すぐ白か黒か、何が出来るかすべきかの答えを出すのは無理なことだと思う。でも考えていることをシェアする、アイデアを出し合うことで変わっていくことはあると確信しています。それから、やはり若狭の人の魅力はすばらしい！本当の幸福って何かなあ？て考えた時に答えになるものがここにはまだ埋まっている気がします。(20代女性)

- いろいろな職種の方々の、いろいろな方向からのお話を聞かせてもらうことができて本当によかった。発起人の先生方も含め「同じ気持ちなんだ！！」と思える方々がこんなにいることが分かり、次につながれるようにがんばりたいと思った。(30代女性)

後日、実行委員に寄せられた参加者の声

大学生／関西／男性

先日行われた「みんなのエネルギー・環境会議（MEEC）～若狭若者編～」では、原発立地地域の人々の「生」の声を聞くことが出来ました。会議を振り返ると「原発反対」とか「脱原発」とか、乏しい情報量の中で発してはいけないな・・・と改めて思いました。

僕みたいな原発に対しての「知」がない人は、大きな出来事が起きると、表面だけで「イエス」か「ノー」を判断しがちだと思う・・・。けど、それでいいとは思ってなくて、本当に「脱原発」を考えるならば、深い内容まで考えることが必要だし、それを創出する場が必要だと思っています。今回がその機会でした。会議では、ここでは書けないような「本音」が次々と寄せられました。こういった情報は、様々な要因から外部へ寄せられることが出来ない現状も知りました。また、原発があるからこそある「生活」、「生業」、「人々の関係」など多岐に渡っていることが分かったり、逆に原発があるからこそ生じる問題なども知りました。原発立地地域だからといって、世間一般の意見に賛同する人（反対を掲げる）の多くの本音は、実はそうではない・・・。複雑な想いをもっていることも分かりました。僕も同じく、会議に参加された方々の多くは、多くの事を考え、複雑な心境になったことは、間違えないと思います。

最後に、このような場を設けて下さった方々に、大変感謝をしたい。現地の人と外部者をつなぐ場が、どんどん増えることによって、今まで届いていなかった「現地の声」が広がることを願います。今、求められていることは、本音で語り合うこと！！それが多くの繋がりに変わり、具体的なアクションに繋がるを信じています。僕も、出来ることから始めていきたい・・・信じるとか願うだけではダメですね！非常に大切な機会に参加できて、良かったです。

社会人／関西／男性

ミーク的な発想はいいですね。攻撃や批判をしないというところ。

何でも徹底・追求することが善と思ってしまうがちで、相手の意見を変えさせないと気が済まない。こういう方法はゴリ押しの妥協でしょう。原発立地の交渉で政府がとった行動そのもの。

反対派の意見の人も実は同じ方法をとっていることに気がつかない。受けて立ってしまっている。

それ以外の方法もあるよ、とミークが教えてくれていると思う。

今は再稼働に感情的になっているので、冷静な言葉に思えるけど、長く続けるなら「攻撃や批判をしない対話」が一番いい。同じエネルギーを注ぐならプラスに使った方がいいし。

若狭はなにかもう動きになってきているので、ぼく自身もそろそろ論じるのをやめ、行動となるようがんばっていきます。

大学院生／関西／男性

今回地元住民の方の生活を聞いて、「原発立地地域の産業構造が原発にかなり依存していて原発なしでやっていくのには非常に厳しいものであり、原発に代わる産業がない限りすぐに原発への依存から脱却することは現実的には無理である」ということを知り、僕の主張がきちんと的を射たものではなかったことに気づきました。しかし逆に、早く原発リスクの脅威を減らすためには地元産業の創出に力を注げばいい、という答えを導くことができました。これはこれでまた難しい問題ですが、都市部でとはいえこれから議員インターンを行う身としては非常にやる気が出る結論です。

そういう意味で本当に有意義でした。8000円ほど出費してまで行く価値は十分にありました(笑)

そもそも原発賛成派は、原発の存在そのものに賛成しているわけではありません。

もし仮に原発がメリットを生み出さないなら、誰でも放射能漏れのリスクがあり核廃棄物を生成する原発なんて無い方がいいと思うに決まっています。つまり、根源的には誰もが原発反対派なのです。

ただ、賛成している人は、原発は、電力供給源として、あるいは地元経済を支える基盤として、あるいは仕事先として、仕方なく必要だと思っているから、仕方なく賛成しているのです(ただし、大して困らないでいながら既得権益にすがりつく人は「仕方なく賛成」ではありません)。

だから、ただ単に「原発反対!」と唱えても、いくら放射能リスクがあることを述べても、脱原発はなかなか進みません。

脱原発を進める方法として、政府や電力会社に対して原発反対表明をすることや、市民に原発リスクの大きさを訴えて反対派を増やすことも必要ですが、もっと大事なのは、賛成派を作り出してしまっている原因を究明し、そちら取り除くことの方なのです。

その原因とは、具体的には、

- ・電力供給不足
- ・原発立地地域の雇用不足
- ・原子力産業従事者の生活への不安

であり、こういったことが「原発なしでも大丈夫」になって初めて脱原発が進みます。

ということは、脱原発を進めるためには、

- ・電力市場を開放する(1社独占→複数社競争)、自然エネルギーの発電量を高める、電力需要を抑える、等
- ・原発立地地域の雇用を創出する、あるいはそのための援助をする
- ・原子力産業従事者の新たな就職先を用意する、あるいは資金援助によって生活保障する

といったことをすればいいということになります。

おおっ、こういったことを考えるのはデモを起こしたり原発リスクを伝えたりするより断然楽しいですね!!w

あー、でもやっぱり原発の安全性向上や廃炉もやらないとなあ(^_^;)

いずれをやるにせよ、がんばろうと思います。

本当のことを教えて下さい、フクシマのひがいは、広島原爆百25倍とか
42ル/アイリ以上という割に、放射能のえいようが 少ないようです。
話では、子どもたちにも、すでに 病気が 出はじめている ようです。

年齢 (30 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

福島原子力事故後、どの責任が 責任者が はたしていい。
国の判断や 政府判断で 大飯 3、4号 再稼働するのだから。
国が 責任持て、東電を 一回 解体すべきではないか。

これは自治体(広域)や県だけが 判断し 責任持て 事業ではない大きなリスクを負うものです。
福島は 各の 季節で よかた...と 争い聞くのは、奥西に 月(高濃度放射線)が 来たから。
から...とある。

地球への汚染は、42ル/アイリ 以上と聞いたり、世界からの 批判と 保障を 求められる 可能性が
ある。

人はミスをするものです。絶対の安全はありません。

再稼働と 見直し、新エネルギーへの 転換を 早急に 進めていってほしい。
負担を 負った 自分への 雇用も、知恵の 支援を お願いしたい。
安全は、人の 意欲も 知恵も 失くします。

年齢 (50 代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

政府レベルでは中幅広い利害を考えなければならないので、
政府の方に頼りきりには、私たちの思う理想は実現できないと思います。
なので、一人生活者として、多くの人と連帯感をもって考え、行動していきたいと思っています。

私は、小学生のとき環境問題について学び、「温暖化を止めたい」と自分が呼吸する
のがまんしていたことまであります。今考えると荒唐無稽ですが、子どもは人や自然
の痛みで敏感で、今回の原発事故で心を痛めている子も多いと思います。
そして「誰がこんな問題起こしたんだ」とやりきれない気持ちになります。
子どもが、社会への希望を失わず、生きられるように考えて頂ければ嬉しいです。
自身の利害だけでなく、弱い立場の人の気持ちも、少し考えてほしいというのが本音です。
私は、経済的な合理性・効率性だけを追求し、環境容量を超える負荷を生み出す
産業であれば、少しずつでも変えていくべきだと考えています。そのために、自分にできること
はたくさんあるので、がんばります。読んで下さりありがとうございました。

年齢 (20 代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

想定外とは想像力の欠如です。
人類は想像力を拡大すること
で進歩してきました。
再稼働にも大飯原発は
大丈夫という論拠は、想像
しないことでは済みますか。
想定外は、もう原発に固執
し続けることでもらわなくて
日本は決断です。
東京の原発を移転させて
から再稼働させて下さい。
安全なら東京の国会議事堂に
移転させて下さい。
御前焼酎

年齢 (50 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

いつまで 原発に頼るのがはきりしてもらいたい。

地元住民の声は、政府には届かないのでは？

↑
県民

少人数の会議で再稼働の問題が決定されることに納得 できません。

国民投票で決定してもらいたい。← 原発の再稼働について。

電気が夏のピークも乗り切れば どうするのを知りたい

年齢 (30 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

二三日の政府、各地自治体のやり取りを聞いていて、
7割以上低い稼働率を見せられていて、正直に
聞いています。各地自治体に住む者として、怒りを同時に
感じています。原発は、動かしていても事故の
リスクが大きい。もし事故が起これば、もし原発
が事故を起こしてもし、事故のリスクが生じても
10年、40年、50年の豊かでない生活のために、100万円以上の
未来へのリスクを押し付けていいのでしょうか。

貴府へ給電への敬意と感謝。と野田総理に感謝
しています。もしとらえたら、これ以上のリスクを未来に
押し付けていいでしょうか。
原発は止めたい。そして政治は未来への道筋を
とりたい。

年齢 (代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

3.11に起こったことは、日本が「変わる」ことへの「きっかけ」になると
思います。政策、エネルギーすべてにおいて忘れないで下さい。

「国民を守る」ことが大切だと ~~思っています~~ いうことを。

日本の政治は企業のためにあるのですか？

原発について国民の~~意~~を聞いてください。

国民投票をして下さい。 声

枝野さま

今日、政治生命を守るために、~~下~~飯原発を動かすことにしたのですか？

年齢 (50 代)

性別 (女性)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

今日、原発立地地域の「生」の声を聞きたいという想いで、このイベントに参加
させて頂きました。私は、3.11以降 原発に対する知識はゼロに近い（ほど）
貧しいものであり、今何が起きているのかさっぱり分かりませんでした。

私はまだ 学生という立場であり、震災復興に対する、金銭的な支援、とくに
ボランティア活動等は、時間的、距離的な問題もあり、なかなか出向くことができま
せん。ただ原発が多いこの国でできる活動があると考えています。それは原発
に対する「知」を高めることです。特に立地地域で聞くことは、Xメディアを通じ
伝わらない多くの声がたくさんあることに気づきます。

長期的には原発は脱するべきです。そのためには、立地の現地の声
を大きく反映させることが求められると考えます。声を反映させないのは、
社会的、政治的な思想がみえつつあります。日本各地域の「進歩」を考
えるには、しっかりと声を反映させて欲しいです。

年齢 (23 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

また 原発依存の国に変わってほしい

(原発依存を止めるために)

年齢 (20 代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

中期・長期の道筋を示すことは、原発を再稼働するうえでめちゃくちゃ
必要なことだと思います。お願いします。

年齢 (20 代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

持続可能な社会実現の為に原発を
手法でエネルギーで自給するという方針を
立てて下さい。原発が火災という事故者
の言い分になった日本国は悲しむべき。
経済界最優等生 般層も年月3人超えという
こんな国になった現状を踏まえ
何となく経済を改革時代に後退させ
やり直しという案断を!!

年齢 (40代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

今日の地元の皆さんのお話を伺っていて「原発でなくてもいいのです。
お仕事さえあれば あんな危険な原発からは早く脱け出たい。問題は仕事」と
いう声があることには、希望を感しました。
貧しい土地に、みんなが嫌がるモノや、来る構造物をなんとか考えおいて
欲しい。“人間の幸せ”を考えたおさなまになって欲しい。外部依存はあかんネ。
少くとも 安全な水と空気と食べものだけは、政治の力で守って欲しい。
災害の場合の備えを準備した土地に すぐの人間住める日本にしてください。
もう、今の民主党も自民党も このままでは信頼できないようになるので
愛ある政治をお願いします。

年齢 (60代)

性別 (女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

最終的には人間。

年齢 (30 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

経済産業大臣 枝野幸男さま
総合資源エネルギー調査会基本問題委員会のみなさま へ

正確な情報を下さい。

選択肢を下さい。

年齢 (30 代)

性別 (男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

専門分野を一生懸命掘り下げて追及することはとても大切。
例え私の主人はその仕事にはまりを持っていているべき丁ということ。
一生懸命に「利」をたない様に。別の視点もあるということを知ってほしいです。

年齢(30 代)

性別(女)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス

みなさま、お疲れさまです!! ほんま大変やと思います。
同じだけ時間を使うのであれば、平行線で互いに足引っ張り合う
議論じゃなくて、お互いに寄り添い、明るい将来像を描けるような
議論をどうかよろしくお願いします。

ムと段落したら、若狭に来て下さい。おいしいもんいっぱい食べて下さい。
大自然を満喫して下さい。あたたかい人に出会って下さい。若狭の
ファンになって下さい。

何度も何度も若狭に来て、お金落として下さい!!
将来は、交付金はいりません。

年齢(20 代)

性別(男)

みんなのエネルギー環境会議 MEEC 若狭若者編
2012.6.10(Sun) 福井県立大学小浜キャンパス